

総合英語 IR(Comprehensive English IIR)

本科	選択・必修	開設時期	単位数	授業形態	担当
一般科目	必修	2年	2	講義	高橋愛
【授業の概要】 1年生ではじめた英語多読を中心に授業を行う。やさしい英語で書かれた本を大量に読みこむことで、直読直解の力をさらに養い、ある程度の長さ・複雑さのある文章も読みこなせるようにする。					
【授業の進め方】 毎回の授業で多読を行い、所定の用紙に記録をつけていく。質問等は、机間巡視をするなかで受けつける。なお、小テスト（単語テスト）は Web Class での実施とし、指定された期間内に各自で受験をしてもらう。授業計画の1回分は50分の授業2回分を想定してある。					
【授業計画】	【授業項目】	【内 容】			
1回	オリエンテーション	授業の進め方・注意事項・評価についての説明。多読を行い、読書記録を記録用紙につける。			
2回	多読活動	多読を行い、読書記録を記録用紙につける。			
3回	多読活動	多読を行い、読書記録を記録用紙につける。			
4回	多読活動	多読を行い、読書記録を記録用紙につける。			
5回	多読活動	多読を行い、読書記録を記録用紙につける。			
6回	多読活動	多読を行い、読書記録を記録用紙につける。			
7回	多読活動	多読を行い、読書記録を記録用紙につける。			
8回	中間試験	これまで当然身につけておくべきレベルの英文の内容把握の問題、小テストをもとに単語のレビュー問題を出题。			
9回	多読活動	試験の返却と解説。多読を行い、読書記録を記録用紙につける。			
10回	多読活動	多読を行い、読書記録を記録用紙につける。			
11回	多読活動	多読を行い、読書記録を記録用紙につける。			
12回	多読活動	多読を行い、読書記録を記録用紙につける。			
13回	多読活動	多読を行い、読書記録を記録用紙につける。			
14回	多読活動	多読を行い、読書記録を記録用紙につける。			
	期末試験	これまで当然身につけておくべきレベルの英文の内容把握の問題、小テストをもとに単語のレビュー問題を出题。			
15回	答案返却など	試験の返却と解説。多読を行い、読書記録を記録用紙につける。			
16回	多読活動	多読を行い、読書記録を記録用紙につける。			
17回	多読活動	多読を行い、読書記録を記録用紙につける。			
18回	多読活動	多読を行い、読書記録を記録用紙につける。			
19回	多読活動	多読を行い、読書記録を記録用紙につける。			
20回	多読活動	多読を行い、読書記録を記録用紙につける。			
21回	多読活動	多読を行い、読書記録を記録用紙につける。			
22回	多読活動	多読を行い、読書記録を記録用紙につける。			
23回	中間試験	12月に実施される ACE をもって中間試験とする。			
24回	多読活動	多読を行い、読書記録を記録用紙につける。			
25回	多読活動	多読を行い、読書記録を記録用紙につける。			
26回	多読活動	多読を行い、読書記録を記録用紙につける。			
27回	多読活動	多読を行い、読書記録を記録用紙につける。			
28回	多読活動	多読を行い、読書記録を記録用紙につける。			
29回	多読活動	多読を行い、読書記録を記録用紙につける。			

	期末試験	これまで当然身につけておくべきレベルの英文の内容把握の問題、小テストをもとに単語のレビュー問題を出題。				
30回	答案返却など	試験の返却と解説。				
【到達目標】	本校におけるレベル分けでピンク色の、1,000 1,500 語の本を読みこなせるようになる。英検準2級程度の読解力を養成する。					
【徳山高専学習・教育目標】		A2		【JABEE 基準 1(1)】		
【評価法】	定期試験 70% (3回の定期試験と ACE の得点を 100 点換算したものの平均点×0.7) + 多読活動への取り組み 20% + 小テスト 10%。資格取得をした場合などはさらに加点をする (ただし合計点が 100 点を超える場合は、100 点とする)。					
【テキスト】	多読用教材は学校で用意する。小テストは、1 年生の時に私用した『COCET3300 理工系学生のための必修英単語 3300』(成美堂) を引き続き使用する。					
【関連科目】	基礎英語 R、総合英語 IIR					
【成績欄】	前期中間試験	前期末試験	前期成績	後期中間試験	後期末試験	学年末成績
	【 】	【 】	【 】	【 】	【 】	【 】